

鎌高



現在の校旗は、1930（昭和5年）に作成された校旗の旧校章を取り去り、「鎌高」の文字を縫い取りしたものです。



先人に負けない気概を

学校長
梅沢 淑弼

県立鎌倉高等学校の創立70周年を迎えるに当たり、これまで本校を支えて下さいました多くの関係者各位に、心より感謝申し上げます。

本校は、昭和三年に鎌倉町立実科高等女学校として設立され、昭和二十六年に県立移管されました。それに伴い風光明媚なこの地に移転され、以来半世紀になろうとしております。

目の前に茫洋と広がる海、校舎より望む江ノ島・霊峰富士、そして伊豆大島から三浦半島へと大きな懐を思わせる景観には言葉もありません。次世代を担う若人の心身練磨の場として、この地に定められた当時の関係者の心意気が伝わって参ります。この自然の恩恵と地域の温かいご支援により、活発で明るく大らかな自治・自立の精神が根付き、それが伝統として脈々と流れ、生徒達の大きな支えとなっております。

昭和二十八年十二月、生徒会機関誌『につさか』第一号に、「良い伝統、他に誇り得るものを作り上げるのは、他の誰でもない。実にこの創造期にある時代に生きる我々なのである。（中略）良き伝統を作り上げるためにも、また人間完成のためにも、我々は常に自覚ある行動、誇りをもった信念ある行動を取らねばならない。」と草創期の熱い思いが語られております。

今、社会は様々な問題が山積し、教育も戦後五十年を経て一大改革期を迎えております。私達も自覚と信念と誇りとを持って行動しなければなりません。そして、こういった時期に創立70周年の節目を迎えることは、天の配剤の妙と言わざるを得ません。困難を切り開いた先人の心意気を思い、その気概に負けない強い意志と21世紀を創造する意欲を持って、更なる前進を続けなくてはならないと考えております。

最後に、本校が地域の教育の拠点として充実發展しますよう、ご支援ご協力をお願い申し上げ、挨拶と致します。